

昭和58年1月発行

No. 2号

南足柄市高齢者

生きがい事業団

事務局 南足柄市関本415-1
電話72-0789

いきがい

新春を迎えて



南足柄市長

安藤 正夫

会員の皆様、あげまして おめでとう
ございます。

「南足柄市高齢者生きがい事業団」が昭和五十五年十月に発足以来、早いもので二年余りが経過いたしました。

この間、社会経済情勢は世界的なインフレの進行、国内における行財政改革等大きく揺れ動き、私たちの日常生活にもいろいろな面で影響を与えております。

核家族化と急速な高齢化が進行している現代社会において、事業団におかれましては、豊かな知識と経験を生かし、仕事を通して社会とのふれあいを図るといふ趣旨にそって会員の皆様が活躍され、目的達成に向って益々、その輪を大きくされていくことに對し敬意を表する次第であります。

このように、貴事業団が順調に発展をみておりますのも、ひとえに、会員の皆様の市民からの信頼とやる気、そして、市民の方々をはじめ関係各位の絶大なご支援の賜と確信いたしております。

おわりにあたり、会員の皆様には旧年にも増して事業団発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご多幸を祈念いたしまして、あいさついたします。

新春のご挨拶



理事長

加藤 美実

昭和五十八年の新春を迎え、元氣一杯の活躍をなされております會員の皆様及び市内の高齢者の方々に、心から新年のお喜びを申し上げます。当南足柄市高齢者生きがい事業団の活動も満二年が過ぎ去り、新たに三度目の正月を迎えました。

會員一致団結しての努力により、会も着実に向上発展への途を進んでおりますことは、御同慶に堪えません。それはひとえに市長さん始め市当局や自治会長の方々の御協力と、市民の皆様のかい御支援による処と感謝申し上げます。また深い御理解を以って仕事を御発注下さる方々にも厚く御礼申し上げます。

思いますに、老人福祉に対する国の施策は後退を余儀なくされていきます。七十才以上の老人に対する医療費の一部個人負担も、五十八年二

月から実施されることとなります。

しかし、私共会員は、老人とは云えども、健康に留意し丈夫な身体と健全な精神を養い、以て働くことの出来る喜びを味わいながら、福祉の後進にも負けず、手と手を取り合って自分の為ひいては社会の為に活動しているのです。即ち、事業団事務局と連絡し合いながら、植木の手入れの張り替え、草刈、清掃、等々々得意の分野の仕事に尽力して、楽しい人生の生きがいを感じ取って居るわけです。どうぞ市内の高齢者の方々も、奮って事業団に御加入下さい。意義あるその日その日を送られますようお勧めいたします。

最後に、各事業所と市民の皆様のご御愛と、会員各位の御多幸をお祈りし、新年の御挨拶いたします。

発注者から

有難うございます

和田河原 日比野

事業団の方々に、わが家は助けて頂いております。御先祖様代々の土地を、草の山にしたくないと思っても、人手不足ではどうしようもなく毎年、火災予防運動の前に、消防署から、草刈りの御注意を頂く度に、身の痒むような思いでした。それが事業団の方々のおかげ様で、滞りなく、片づけて頂き、感謝いたしてお

ります。一昨年、市の広報で、事業団の事を知り、なんとなく、尻込みしながら、デンワを致しましたところ快く応対して頂き、仕事の内容を尋ねられ、大体の日時を約束して下さいました。ある日玄関のベルで出て見ると、車に積んだ、ハンゴや三脚に、之は何かと驚き、どこかでおめにかかったような方だけど、家を間違えられたのだと思いました。が、それは、わが家の梅の木の剪定や、除草の為に、道具を準備して、職員の方が運んで下さったものでした。こうした、当局の、こころ配りがあったこそ、事業団の発展があるのだと思います。

今日も穏やかな冬日の中で、働いて頂いております。立派な菊づくりをなさっていらっしゃる方、盆栽のお好きな方、皆様方は、多趣味な、御隠居様方です。御自分の余生を、人のため、世のために「奉仕」下さっているお姿だと思えます。戦争を体験し日本の大変な時代を、生きて来た方々だからでしょうか、夏の炎天の日にも、冬の寒い日にも、黙々と、丁寧な仕事ぶりと、仕事のはしばしに現われている、また物を大切になさる行いに頭が下がります。

皆様方どうぞ、お昼にお気をつけて、お元氣におすごし下さいませ。御健康をお祈り申し上げます。

末筆ながら、事業団、事務局、及び会員の御方々に日頃の御礼を厚く

申し上げます。

会員になってから

なごやかな結びつき

坂沢 石川 親春

生きがい事業団が、昭和五十五年九月三日設立されてより、早や二年有余になり、当初は六十余名の会員でしたが、現在では九十余名の会員と聞いております。

私は事業団発足のときから、会員になっておりますが、最初は発注者の家に行き、仕事をする場合、多少の不安がありました。然し仕事に馴れ、会員数人と仕事をするときなど見知らぬ他の自治会の方々と、ともに語らい、ともに楽しみを分かちあい情報交換などまじえて、初対面ながら、竹馬の友の様な心の通じあいで仕事に精を出しております。本当に生きがいを感じている昨今です。

仕事と会員との結びつきは、非常に良いと感銘します。発注者から仕事について、これが高齢者か、と云われるような仕事ぶりに、お誉めの言葉を頂いたときなど、流れる汗もさわやかに、自然と笑顔がこぼれ、もう一ふんばりと頑張ります。これも各自が仕事に馴れ、成長してきた賜物と思えます。

これからも多数の方が、事業団に加入し、仲間づくりと、健康づく

り、そして身につけた能力をもとで、社会に貢献し、お互いに手をとりあって、益々事業団の輪を、広げていこうではありませんか。

私達の、生きがい事業団が設立されてより、急速に成長してきましたのも、市のご援助と、市民皆様方のご協力で、県下でも有数な事業団と聞いております。今後も頑張り続けていく所存です。皆様様の、ご多幸を祈りながら。

経験がお役に

塚原 小沢 八郎

私の趣味は、ハミリヤ菊作りと、ゲートボールで、特に最近ではゲートボールを週に二回、月曜日と木曜日に、約二十人位の仲間と、勝った負けたで、大いに楽しんでおります。一休みの時など世間話しに花を咲かせて、人と人との、ふれあいを高めております。

私は、何か出来る仕事がないかいつも思っていました矢さきに、高齢者生きがい事業団が、昭和五十五年九月に設立され、植木の手入れ、消毒、草とり、ペンキ塗り等、色々な職種がありました。私は多少植木の手入れをした、経験がありましたので、早速、希望職種の記入欄に書き入れて、入会の申し込みをしました。その時は、六十余名の会員でしたが、現在は九十」となり、会

員数も、仕事の方も、益々増加してまいりました。

私は会員になって初めて、発注者の、植木の手入れ、をした時など、何となく一まつ不安を感じたものでしたが、今では自信もわき、行く先ざきで、よるこんで貰っています。本団に事業団に入ってよかったと思っております。

今では、お陰様で、申込順により岡本地区は勿論のこと、中沼から岡本方面まで、名差して行く事もあります。植木の手入れ以外の作業では藤棚やブドー棚を、作ったこともありました。発注者から、きれいに良く出来たと、おほめの言葉を頂戴したり、楽しい日々を送っております。私は昔の級友中村君(岡本小)とともに連絡をとりあって仕事に出かけておりますが、仕事の量が多い時などは、四人位で組むこともありま。私達は会員の一人として、少しでも良い仕事をして皆様方に喜んで頂ければと思ひ一生懸命努力しております。ご指導のほど、よろしくお願いたします。

まだまだ書きたい事も沢山ご座居ますが紙面の都合で、次回にゆずり体験の一端を申しのべて、筆をおきます。



グリーンと伸びた

この実績

事業団で受注している職種は、植木の手入れ、大工仕事、ペンキ塗り（障子）張り、屋内軽作業、屋外軽作業、庭木の消毒等です。その他受注件数は少ないが、事務系で伝票整理や宛名書き、など多岐にわたっています。

発注者の皆様方に、それぞれの職種で大変よろこばれているが、反面二、三カ月も待たなければ、順番が廻ってこない職種もあり、ご迷惑をかけています。これも天候や会員の都合、手入れの適期、作業の内容等で、どうにも調整出来かねる点もあり、ご容赦いただきたいと思えます。さて、実績の方は、今年度に入り大幅な伸びを示しています。昨年度の配分金（働いた会員に支払った賃金）は、多い月で一六〇万円位の支払いであったのが、当初少ないと予想していた年度始めの四月でさえ一七〇万円と、一〇万円多い支払いとなった。次の五月に入ると更にハイピッチで上昇し、遂に二〇〇万円の舞台を大きく突破する勢を示した。昭和五十七年十一月までを前年度同期と図で比較してみると、実に倍増の実績をあげ、約八〇〇万円も多く、一カ月平均で一〇〇万円の増と

なっておりま。昨年度（五十六年）一年間との比較では一四、二七八、五七四円の実績に対し、本年度は十一月で、一六、六〇四、三四九

円に達し、あと四カ月を残す時点で二、三二五、七七五円も追い越したことになります。

配分金比較図

昭和五十六年十一月まで
昭和五十七年十一月まで
(合計は下段の数字を参照)

月別	年度	配 分 金 額			
		50万円	100万円	150万円	200万円
4	56	697,035円			
	57	1,714,322円			
5	56		1,094,530円		
	57		2,436,167円		
6	56	1,101,556円			
	57	2,108,828円			
7	56		1,028,710円		
	57		2,144,615円		
8	56	1,108,495円			
	57	1,827,846円			
9	56		1,074,229円		
	57		1,883,732円		
10	56	1,333,295円			
	57	2,227,620円			
11	56		1,191,065円		
	57		2,261,219円		
合計	56	8,628,915円			
	57	16,604,349円			

会員の意向調査を

まとめて

事業団が誕生して、二ヶ年を経過しようとしている昨年八月十五日現在で、一〇三人を対象に、九つの設問で調査をした。その中から主なものを挙げる。

- 一、「事業団に入会した目的は」。
- ①健康のため…………… 四五人
- ②多少のこずかい…………… 三一人
- ☆事業団の主旨にそった、理想的な結果が出ている。
- 二、「いまの健康状態は」。
- ①普通…………… 四八人
- ②大変丈夫…………… 一七人
- ☆合計で六五人の会員が健康に自信をもって、働いている。
- 三、「自分が希望している仕事以外の作業でも働きたいか」。
- ①働きたい…………… 三七人
- ☆回答者八六人中の四三%の人が、積極的に働く意欲をもっている。
- 四、「一日の働く時間は、どの位がよいか」。
- ①六〜八時間…………… 四七人
- ②半日位…………… 二八人
- ☆この設問でも、前問と同様、積極的な姿勢が伺える。
- 五、「会員になって、仕事に出なか

った理由」。

- ①都合が悪かった……………五人
- ②希望の仕事なし……………四人
- ③健康が理由……………三人

☆その他消極的な人も。

六、「これからも会員として、仕事をしたいか」。

- ①やっていきたい……………四三人
- ②出られないが……………八人
- ③やめたい……………四人

☆この設問で、就労日数の多い会員は、別に記入しなくてもの考えからか無記入が多かった。

対象者数……………一〇三人

回答者数男……………五五人(七九%)

女……………二八人(八五%)

無記名……………三人

回答者総数……………八六人(八四%)

◇ 今回の調査を総括して見ると、事業団の主旨を、適確にとらえて判断し、遂うことなく、自分の意志で加入し、活動している姿は、進取の気性にあふれ、実に頼もしい限りだ。

… 会員募集 …

益々増加する受注件数を、消化して行くには、一〇〇名以上の会員が必要と思ふように回転していかないわけです。仲間入りをおすすめします。申し込みは簡単です。事務局まで。(福祉事務所二階)

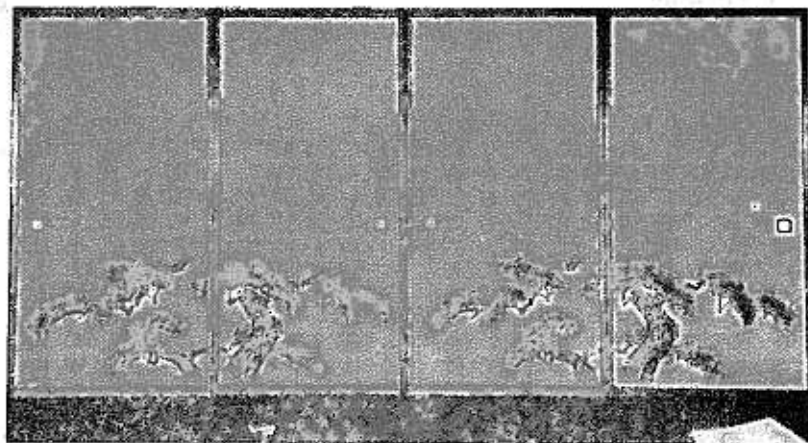
講習会風景



技術に磨をかけて

春日山荘の庭木による、講習風景です。皆様の好評をいただき、益々ファイトを、もやしています。まずは腕を磨き、それぞれの樹種の特長を生かした剪定を身につけ、ご愛顧に込められるよう……真剣な受講の一コマ。

襖張りもご覧のとおり



大した腕前です

事業団発足一周年記念号(昭和五六・一二・発行)の写真と比較するとまさに雲泥の差。昨年末には、かなりの枚数を仕上げました。広報でのPRより、お隣り同士の口づて、あるいは友人の伝言などで、仕事があえてきました。